

「全鍍連」 2023年 2月号 巻頭言

全鍍連 経営副委員長 清水 謙一 (株)清水鍍金 代表取締役社長)

「転換期」



全鍍連経営委員会副委員長を仰せつかっている愛知県鍍金工業組合の清水でございます。

私はパンデミックという過去や映画の中の出来事を、自身が生きている間に経験するとは思いませんでした。コロナパンデミックは、人々と経済界に大きな行動変容を与え、当然に元の社会経済状態には戻らないということも、今、認識してきています。約3年間コロナウイルスに翻弄され、どこかの国でロックダウンが起きれば、様々な生産が停止するため、客先の生産計画も有って無いような状況が今も続いています。また、追い打ちを掛けるかのようにロシアのウクライナ侵攻が始まったことにより、エネルギー、金属、鉱物等何もかもが高騰し、私達の取り巻く環境は非常に厳しく、経営を圧迫している状況です。

今、私達は大きな転換期を迎えています。世界情勢の不安定さ、コロナウイルスによる経済や社会への打撃のみならず、環境問題など様々な問題が山積みです。また、デジタル革命が社会に急速な変化をもたらし、今後もその流れは一層加速していくでしょう。これまでの概念や価値観は一変し、経済や社会、そして私達の経営方針、働き方は大きく変わろうとしています。

いかなる状況下に置かれても、私達、全国鍍金工業組合連合会は「人」を中心に据えて、絆を一層強化していかなければならないと思います。

私は、先日のFIFAワールドカップでの日本代表選手の活躍を見て、心揺さぶられました。劇的な逆転勝利を始め、果敢な戦いぶりに勇気と感銘を受けました。日本選手が一丸となってチームの絆を深め、戦う姿を見て、全鍍連も今まで以上に一丸となり、私達がいままで引き継いできた技術、経験を基に新しい時代に適応していく努力を続け、この転換期を乗り越えて行きたいと思っています。

最後に、全国鍍金工業組合連合会という共同体とともに会員皆様の企業がさらに発展することを祈念して、締めくくりにさせていただきます。